

第 35 回港区民世論調査報告書 概要版

MINATO OPINION

ミ ナ ト

オ ピ ニ オ ン

この冊子は、令和7年11月から令和8年1月までに実施した「第 35 回港区民世論調査」の結果の概要版です。ご協力いただきました区民の皆様にご心から感謝申し上げます。

【調査の概要】

■調査設計等

【調 査 対 象】 港区在住の満 18 歳以上の男女個人（外国人を含む）

【標 本 数】 2,000 人

【抽 出 方 法】 住民基本台帳からの層化無作為抽出

【調 査 方 法】 郵送配布・郵送又はインターネットによる回収

【調 査 期 間】 令和 7 年 11 月 21 日（金）～令和 8 年 1 月 31 日（土）

【有効回収数】 611 人

【有効回収率】 30.6%

■調査項目

1 定住意向

2 区政全般

3 生物多様性

4 平和

5 全国連携

6 区民相談

7 港区基本計画

※ 図表中の「n」は、その設問の回答者数を表しています。

※ 回答率は百分率で算出し、小数第2位を四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合があります。

※ 複数回答の設問では、回答率の合計が 100%を超える場合があります。

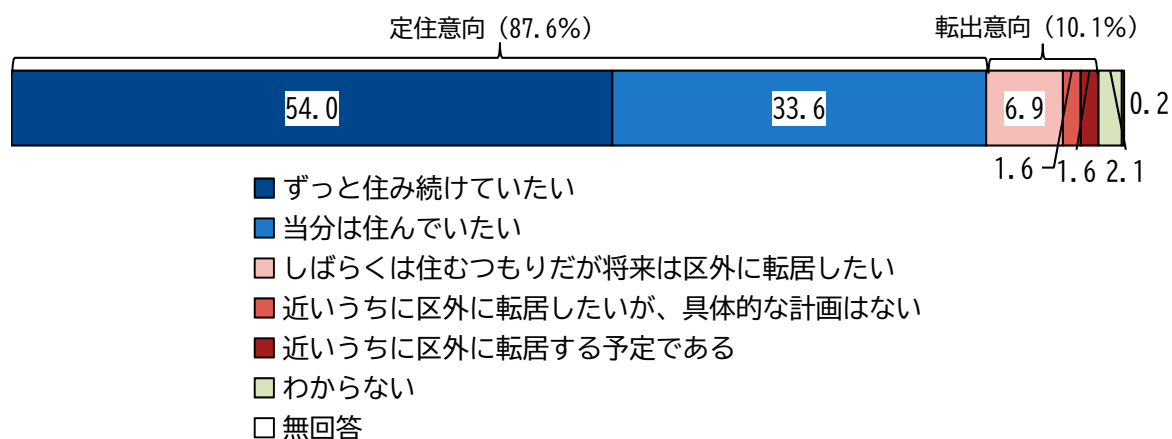
※この冊子は英語版、中国語版、ハングル版も発行しております。港区ホームページをご覧ください。

港 区

1 定住意向

これからも港区に住み続けたいと思うか聞いたところ、「ずっと住み続けたい」(54.0%)と「当分は住んでいたい」(33.6%)を合わせた《定住意向》(87.6%)は9割近くとなっています。一方、「しばらくは住むつもりだが将来は区外に転居したい」(6.9%)と「近いうちに区外に転居したいが、具体的な計画はない」(1.6%)と「近いうちに区外に転居する予定である」(1.6%)を合わせた《転出意向》(10.1%)は1割となっています。(図1)

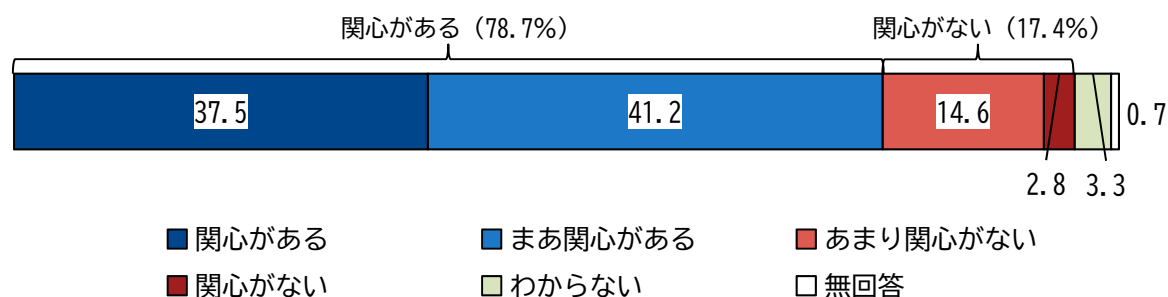
図1 n=611(単一回答)



2 区政全般

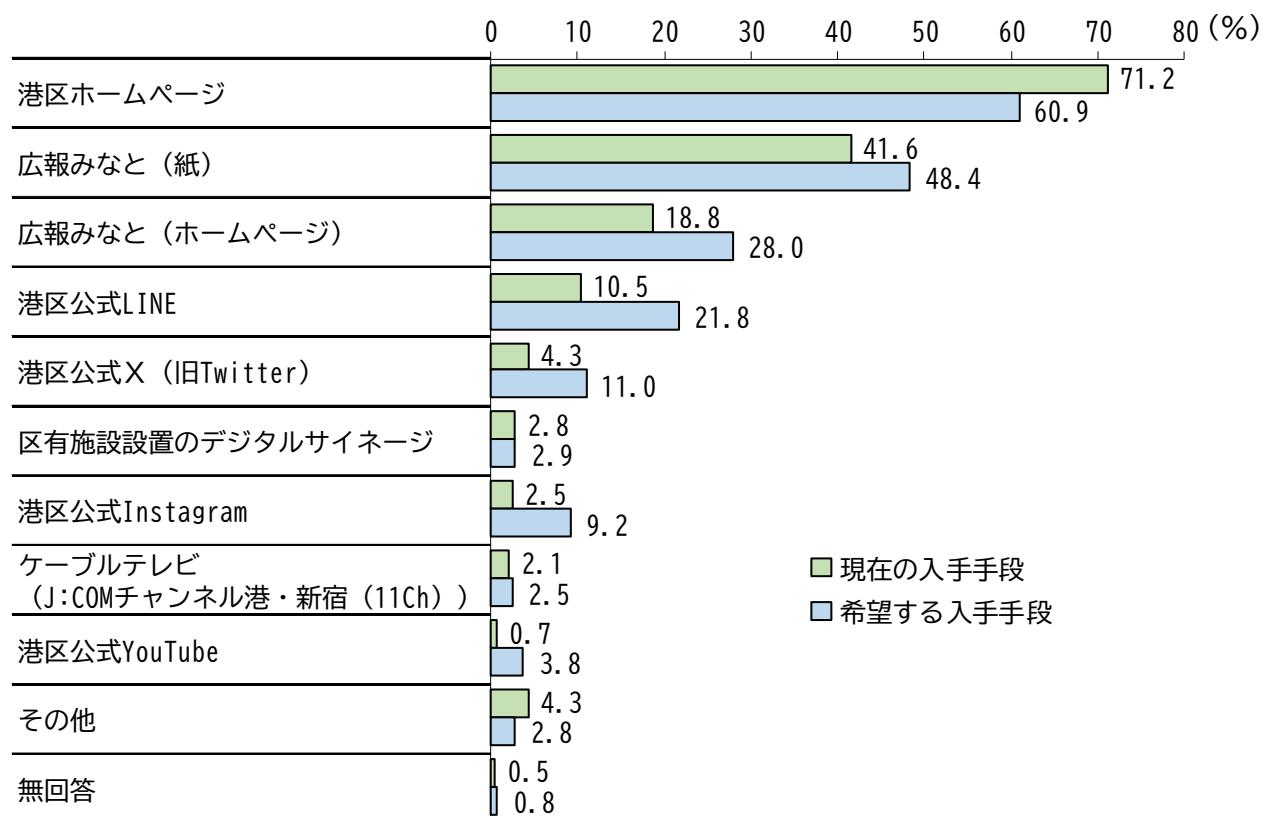
港区政に関心があるか聞いたところ、「関心がある」(37.5%)と「まあ関心がある」(41.2%)を合わせた《関心がある》(78.7%)は8割近くとなっています。一方、「あまり関心がない」(14.6%)と「関心がない」(2.8%)を合わせた《関心がない》(17.4%)は2割近くとなっています。(図2)

図2 n=611(単一回答)



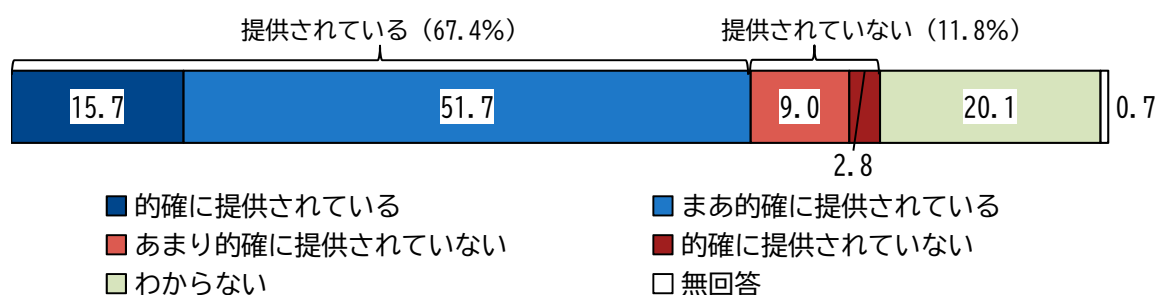
区の行政サービスや手続きの方法を知りたいとき、どのように情報を入手するか聞いたところ、「港区ホームページ」(71.2%)が7割超で最も高くなっています。次いで「広報みなと(紙)」(41.6%)、「広報みなと(ホームページ)」(18.8%)などの順となっています。一方、希望する入手手段を聞いたところ、「港区ホームページ」(60.9%)が約6割で最も高くなっています。次いで「広報みなと(紙)」(48.4%)、「広報みなと(ホームページ)」(28.0%)などの順となっています。(図3)

図3 n=611(複数回答可)



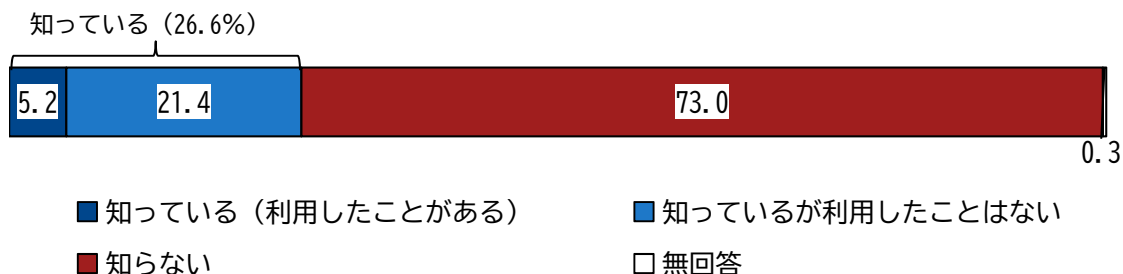
区から必要な情報が的確に提供されているか聞いたところ、「的確に提供されている」(15.7%)と「まあ的確に提供されている」(51.7%)を合わせた「提供されている」(67.4%)は7割近くとなっています。一方、「あまり的確に提供されていない」(9.0%)と「的確に提供されていない」(2.8%)を合わせた「提供されていない」(11.8%)は1割超となっています。(図4)

図4 n=611(単一回答)



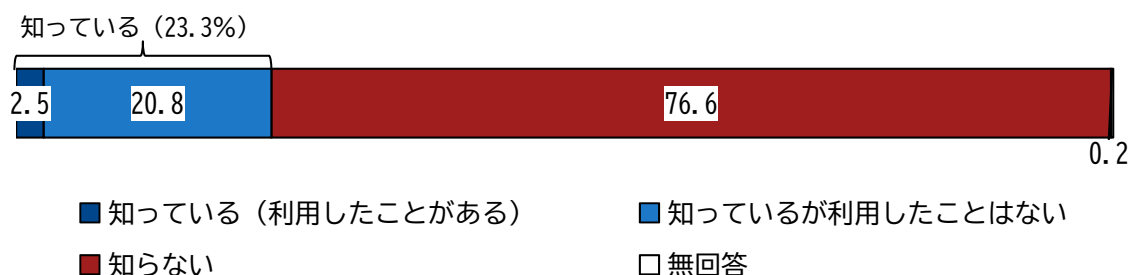
区のサービス内容や施設案内、イベント情報などの問い合わせができる「みなとコール(コールセンター)」を知っているか聞いたところ、「知っている(利用したことがある)」(5.2%)と「知っているが利用したことはない」(21.4%)を合わせた《知っている》(26.6%)は3割近くとなっています。一方、「知らない」(73.0%)は7割超となっています。(図5)

図5 n=611(単一回答)



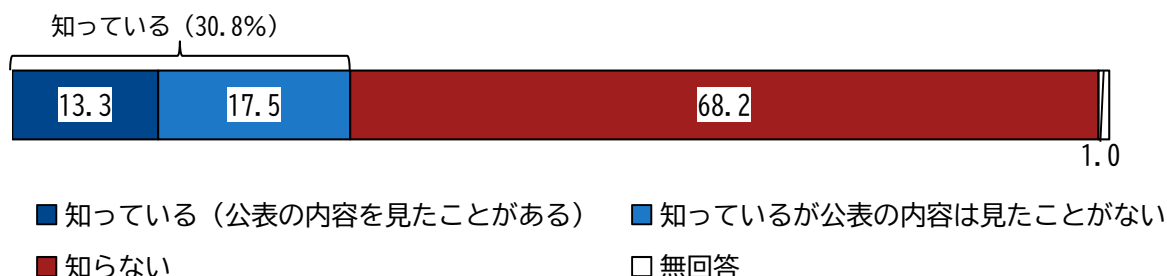
区政に対する区民の皆さまのご意見やご提案等をお伺いする「区民の声センター」を知っているか聞いたところ、「知っている(利用したことがある)」(2.5%)と「知っているが利用したことはない」(20.8%)を合わせた《知っている》(23.3%)は2割超となっています。一方、「知らない」(76.6%)は8割近くとなっています。(図6)

図6 n=611(単一回答)



区民の皆さまからいただいたご意見やご提案等や、それに対する区の対応や考え方等の要旨を港区ホームページ等で公表していることを知っているか聞いたところ、「知っている(公表の内容を見たことがある)」(13.3%)と「知っているが公表の内容は見たことがない」(17.5%)を合わせた「知っている」(30.8%)は約3割となっています。一方、「知らない」(68.2%)は7割近くとなっています。(図7)

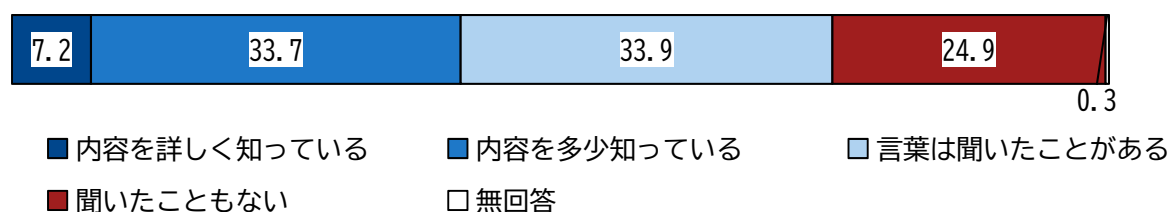
図7 n=611(単一回答)



3 生物多様性

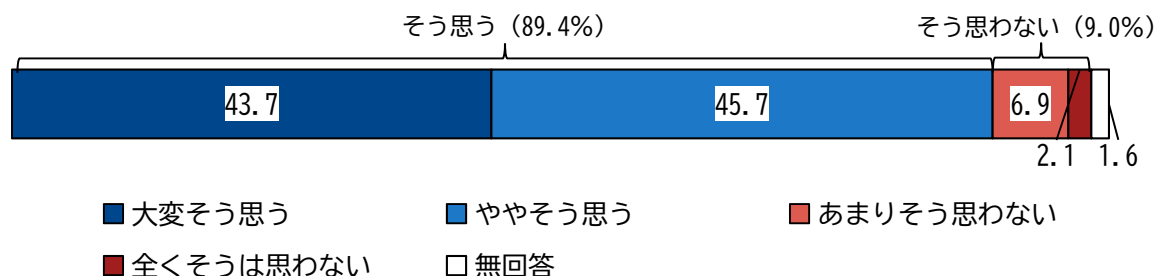
「言葉は聞いたことがある」(33.9%)が3割超で最も高くなっています。次いで「内容を多少知っている」(33.7%)、「内容を詳しく知っている」(7.2%)などの順となっています。一方、「聞いたこともない」(24.9%)は2割半ばとなっています。(図8)

図8 n=611(単一回答)



「生物多様性を守り、はぐくむことは大切である」という意見や考えについて、考えや意見に最も近いものを聞いたところ、「大変そう思う」(43.7%)と「ややそう思う」(45.7%)を合わせた《そう思う》(89.4%)は約9割となっています。一方、「あまりそう思わない」(6.9%)と「全くそうは思わない」(2.1%)を合わせた《そう思わない》(9.0%)は1割未満となっています。(図9)

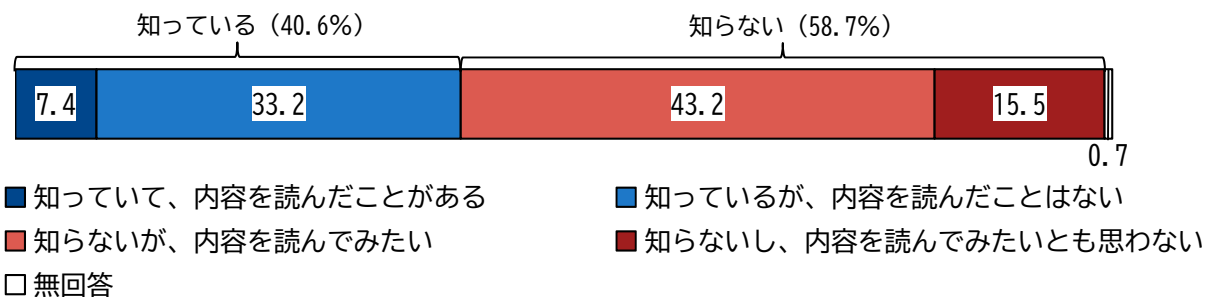
図9 n=611(単一回答)



4 平和

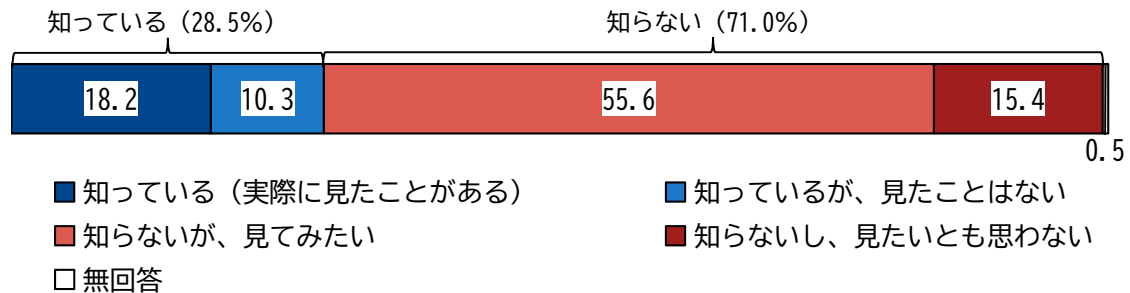
「港区平和都市宣言」について知っているか聞いたところ、「知っていて、内容を読んだことがある」(7.4%)と「知っているが、内容を読んだことはない」(33.2%)を合わせた《知っている》(40.6%)は約4割となっています。一方、「知らないが、内容を読みたい」(43.2%)と「知らないし、内容を読んでもいいと思わない」(15.5%)を合わせた《知らない》(58.7%)は6割近くとなっています。(図10)

図10 n=611(単一回答)



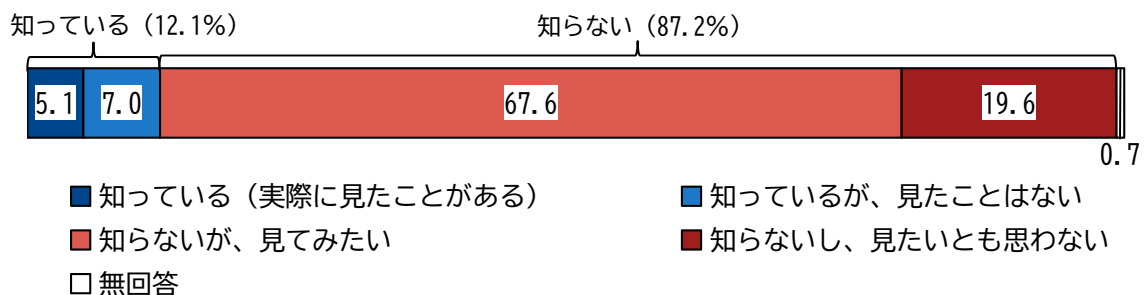
平成17年に区立芝公園に「平和の灯(広島県広島市)」、「ナガサキ誓いの火(長崎県長崎市)」及び「平和の火(福岡県八女市)」の火を合わせた「平和の灯」を設置したことを知っているか聞いたところ、「知っている(実際に見たことがある)」(18.2%)と「知っているが、見たことはない」(10.3%)を合わせた《知っている》(28.5%)は3割近くとなっています。一方、「知らないが、見てみたい」(55.6%)と「知らないし、見たいとも思わない」(15.4%)を合わせた《知らない》(71.0%)は7割超となっています。(図 11)

図 11 n=611(単一回答)



平成 17 年に区立芝公園内に原爆投下後も生き抜いた広島のアオギリ、長崎のクスノキの種子から育った「被爆アオギリⅡ世」「被爆クスノキⅡ世」の苗木を植樹したことを知っているか聞いたところ、「知っている(実際に見たことがある)」(5.1%)と「知っているが、見たことはない」(7.0%)を合わせた《知っている》(12.1%)は1割超となっています。一方、「知らないが、見てみたい」(67.6%)と「知らないし、見たいとも思わない」(19.6%)を合わせた《知らない》(87.2%)は9割近くとなっています。(図 12)

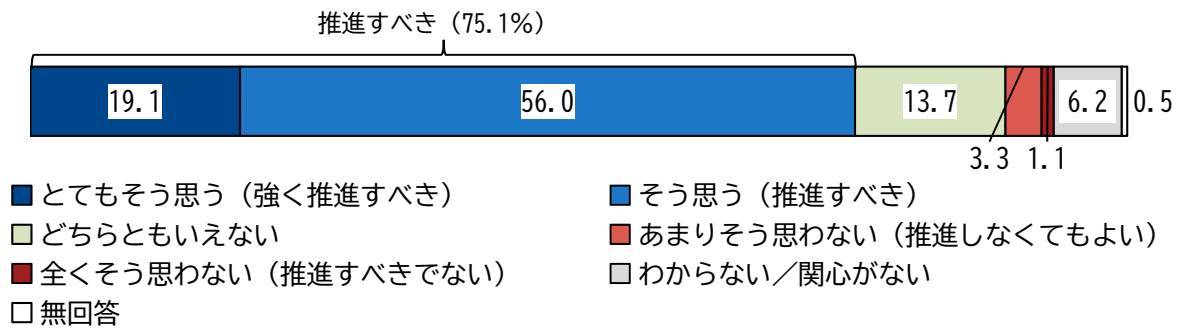
図 12 n=611(単一回答)



5 全国連携

互いの地域の住民の暮らしをより豊かにするための全国自治体と連携の推進について聞いたところ、「とてもそう思う(強く推進すべき)」(19.1%)と「そう思う(推進すべき)」(56.0%)を合わせた《推進すべき》(75.1%)は7割半ばとなっています。一方、「あまりそう思わない(推進しなくてもよい)」は3.3%、「全くそう思わない(推進すべきでない)」は1.1%となっています。(図13)

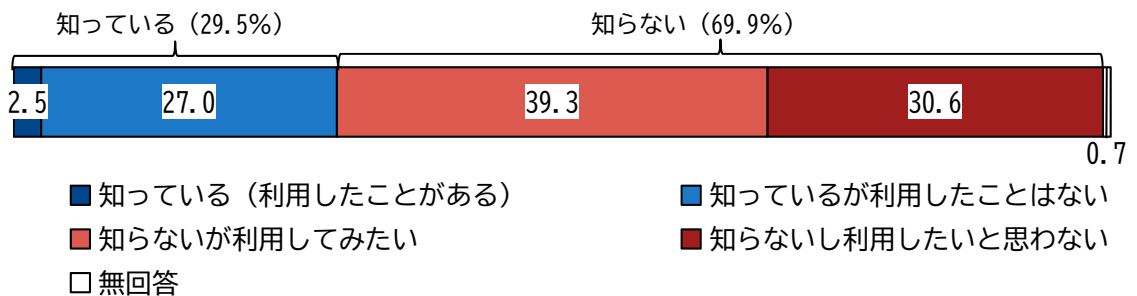
図13 n=611(単一回答)



6 区民相談

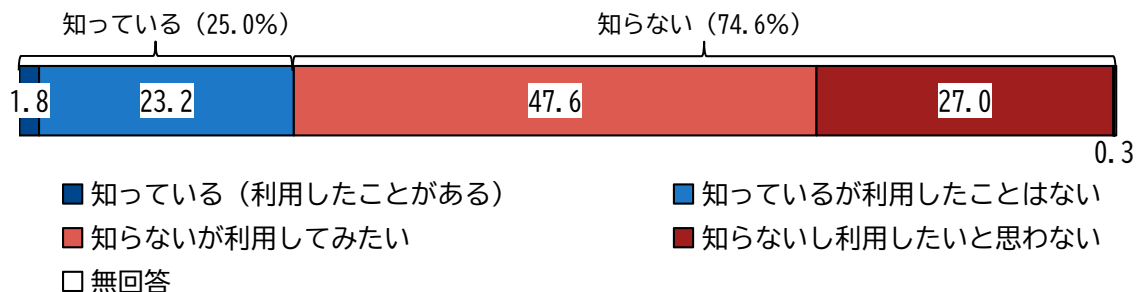
「司法書士による登記・成年後見等相談」について知っているか聞いたところ、「知っている(利用したことがある)」(2.5%)と「知っているが利用したことはない」(27.0%)を合わせた《知っている》(29.5%)は3割となっています。一方、「知らないが利用してみたい」(39.3%)と「知らないし利用したいと思わない」(30.6%)を合わせた《知らない》(69.9%)は7割となっています。(図14)

図14 n=611(単一回答)



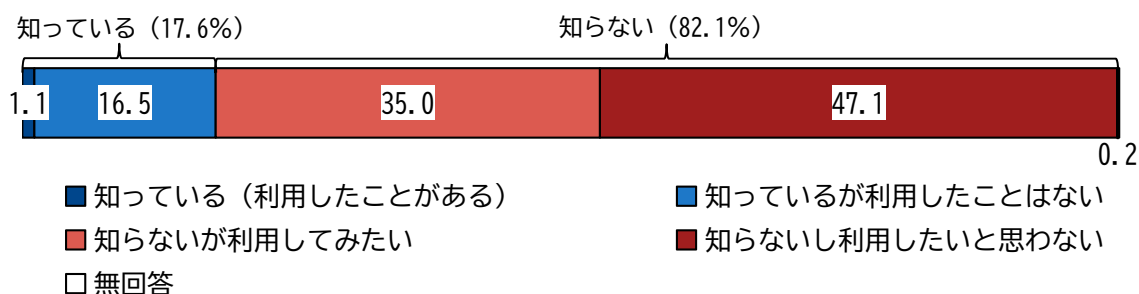
「行政書士による相談」について知っているか聞いたところ、「知っている(利用したことがある)」(1.8%)と「知っているが利用したことはない」(23.2%)を合わせた《知っている》(25.0%)は2割半ばとなっています。一方、「知らないが利用してみたい」(47.6%)と「知らないし利用したいと思わない」(27.0%)を合わせた《知らない》(74.6%)は7割半ばとなっています。(図 15)

図 15 n=611(単一回答)



「土地家屋調査士による相談」について知っているか聞いたところ、「知っている(利用したことがある)」(1.1%)と「知っているが利用したことはない」(16.5%)を合わせた《知っている》(17.6%)は2割近くとなっています。一方、「知らないが利用してみたい」(35.0%)と「知らないし利用したいと思わない」(47.1%)を合わせた《知らない》(82.1%)は8割超となっています。(図 16)

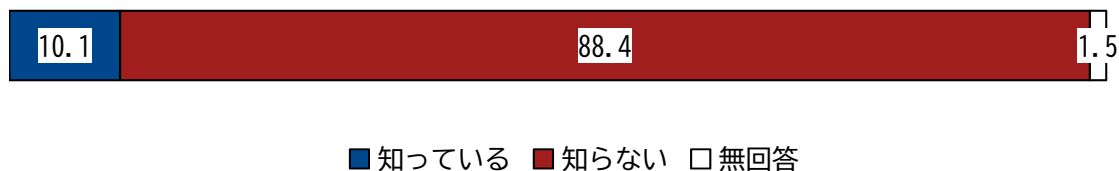
図 16 n=611(単一回答)



7 区基本計画

令和5年度に改定した「港区基本計画(令和3年度～令和8年度)」について知っているか聞いたところ、「知っている」(10.1%)は1割、「知らない」(88.4%)が9割近くとなっています。(図 17)

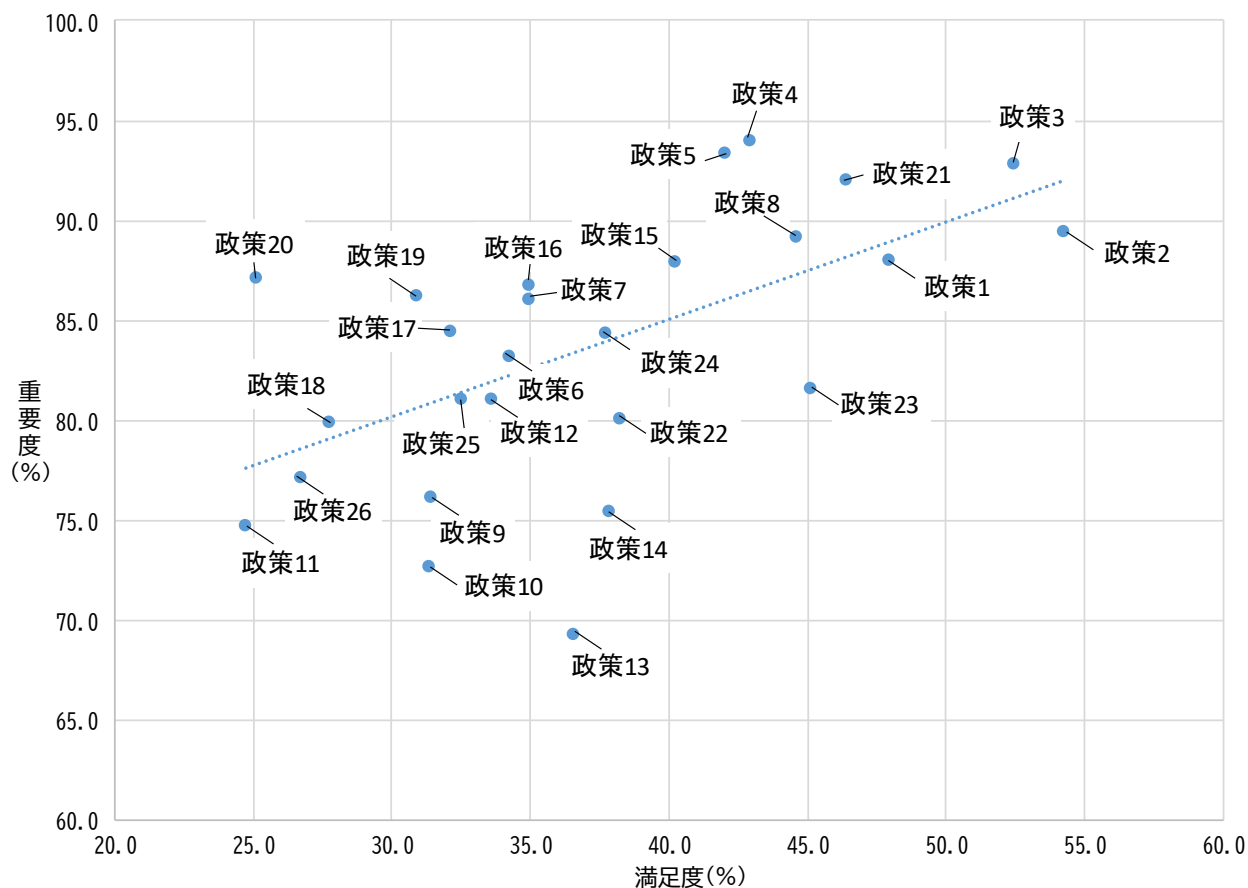
図 17 n=611(単一回答)



港区基本計画(令和3年度～令和8年度)令和5年度改定版に掲げる下表の政策の重要度と、港区の状況に対する満足度についての考えに近いものを選んでいただいたところ、重要度は、「政策4 自助・共助・公助により災害に強い都心づくりを進める」(94.1%)が9割半ばで最も高くなっています。次いで「政策5 安全で安心して暮らせる都心をつくる」(93.4%)、「政策3 快適な暮らしを支える交通まちづくりを進める」(92.9%)などの順となっています。

一方、満足度は、「政策2 世界に開かれた先駆的で活力あるまちの基盤を整備する」(54.2%)が5割半ばで最も高くなっています。次いで「政策3 快適な暮らしを支える交通まちづくりを進める」(52.4%)、「政策1 多様な人びとがともに支え合う魅力的な都心生活の舞台をつくる」(47.9%)などの順となっています。(図 18)

図 18 n=611(択一回答)



			(%)	
		満足度	重要度	
政策1	多様な人びとがともに支え合う魅力的な都心生活の舞台をつくる	47.9	88.1	
政策2	世界に開かれた先駆的で活力あるまちの基盤を整備する	54.2	89.5	
政策3	快適な暮らしを支える交通まちづくりを進める	52.4	92.9	
政策4	自助・共助・公助により災害に強い都心づくりを進める	42.9	94.1	
政策5	安全で安心して暮らせる都心をつくる	42.0	93.4	
政策6	持続可能な循環型の都心づくりを進める	34.2	83.3	
政策7	人や生物にやさしい、環境負荷の少ない都心環境をつくる	34.9	86.1	
政策8	環境に対する意識を高め健康で快適に暮らせる生活環境をつくる	44.6	89.2	
政策9	参画と協働により地域を支える多様なコミュニティをつくる	31.4	76.2	
政策10	豊かな国際性を生かした多文化共生社会をつくる	31.3	72.7	
政策11	伝統と最先端技術が融合した区内産業を支援する	24.7	74.8	
政策12	港区の特性を生かした個性ある商業集積の形成を支援する	33.6	81.1	
政策13	港区ならではの魅力を生かした都市観光を展開する	36.5	69.3	
政策14	豊かで多様な文化に包まれたまちづくりを進める	37.8	75.5	
政策15	健やかな子どもの「育ち」を支える環境を整備する	40.2	88.0	
政策16	子どもの個性、地域の特性を生かす学校教育を実施する	34.9	86.8	
政策17	就学前児童ケアサービスを総合的に推進する	32.1	84.5	
政策18	地域での支え合いと区民の自分らしく自立した地域生活を支援する	27.7	80.0	
政策19	高齢者のいきいきと充実した地域での生活を支援する	30.9	86.3	
政策20	障害者のゆたかで自立した地域での生活を支援する	25.1	87.2	
政策21	区民が健やかで安全に暮らすことができるよう支援する	46.4	92.1	
政策22	誰もがスポーツを楽しむことができる機会の確保と環境を整備する	38.2	80.1	
政策23	区民の多様な学習活動と誇りと愛着ある郷土意識の醸成を支援する	45.1	81.7	
政策24	先端技術の活用により利便性の高い区民生活を実現する	37.7	84.4	
政策25	平和や人権、多様な価値観を尊重しながら、透明性が高く開かれた区政運営を推進する	32.5	81.1	
政策26	行政資源を効果的・効率的に活用し、先駆的な施策を推進する	26.7	77.2	

第 35 回港区民世論調査報告書概要版 ミナト オピニオン MINATO OPINION

令和8年(2026 年)3月発行

【編集・発行】 港区企画経営部区長室

港区芝公園1丁目5番 25 号 電話 03(3578)2111(代表)

刊行物発行番号 2025287-5861



港区は、みどりの保全とごみの減量に努めています。
この印刷物は、古紙を活用した再生紙を使用しています。